

■審査項目「利用促進のための取組み、利用者への対応」についての提案内容の比較

3 利用促進のための取組み、利用者への対応

審査の視点	行数	一般社団法人 神奈川県射撃協会	行数	神奈川県銃砲火薬商組合	評価点
より多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容	66	<ul style="list-style-type: none"> 当協会の構成団体の上部団体への働き掛けによる様々な競技会や強化合宿等の誘致 競技力向上のための射撃教室の実施 競技ルールの講習会や事故防止のための銃砲操作講習会の実施 競技会や合宿、教室開催時の有資格者の場内巡回指導 競技力向上等を図るための月例会の実施 県立高校にビームライフルやエアライフルに関する射撃部創設の働き掛け 高校文化祭等での指導員によるビームライフルの体験射撃教室の実施 専門講師を招聘した研修や接客マニュアル作成による射撃場関係者（従業員）への教育 快適な施設づくりのための施設の整備（シャワールームや更衣室の完備など） ビッグイベントの開催にあたり、ケーブルテレビや地元新聞社への取材依頼 	6	<ul style="list-style-type: none"> 管理者（組合）主催の射撃教室や射撃大会の定期的な開催 公平な価格設定による運営 	協会、組合ともに12点で同じ評価点となっている
より多くの利用を図るために行う広報・PR活動の内容	24	<ul style="list-style-type: none"> 当協会の構成団体の上部団体が発刊する各種機関誌（年5、6回）や友好団体（工業会）への働き掛けによる団体刊行物への広報記事掲載 HPの開設 ケーブルテレビや地元新聞への掲載依頼 県体育協会や県立スポーツ施設などのHPへのリンク 	8	<ul style="list-style-type: none"> 組合のネットワークを使い関係業界へ広くアピール HPの開設 過去の利用者への案内 射撃場紹介パンフレットの作成 	
サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み	23	<ul style="list-style-type: none"> 射撃場運営委員会の設置による利用促進、事故防止、地域との連携、経費節減等の検討、決定 場内にアンケート箱の設置、HPでの要望欄の設置 意見の運営委員会での検討、協議、HPへの結果報告 モニタリングの実施 	7	<ul style="list-style-type: none"> 場内に目安箱を設置（簡易アンケート） メールによる意見の聴取体制の整備 不定期のアンケート（詳細アンケート）を実施し、その意見を検討し、従業員全員のミーティングに反映 	
施設の特徴をより効果的に活かすために行う自主事業の内容	51	<ul style="list-style-type: none"> レディースデー（女性優待日）やシルバーデー（高齢者優待日）の設置 地元自治会や近隣住民を対象とした狩猟鳥獣の料理教室を、専門調理師を招き年2回程度開催 学生選手（18歳未満）のための鉄砲保管管理について、ガンロッカーを場内に設置し安価に受託 将来的には場内に大型の銃砲専用保管庫の設置 	14	<ul style="list-style-type: none"> 日曜、祝日も個人利用ができるような射面・射座の一部開放 初級、中級、上級別の射撃教室を定期的に開催 見学者への射撃指導員によるガイドツアーの開催 希望者への無料ビームライフル体験射撃の実施 太陽光発電設備の設置 	
スポーツ（競技）振興に関する取組みの内容	90	<ul style="list-style-type: none"> 上部団体による様々な競技会や強化合宿等を誘致 *誘致する競技会例 <ul style="list-style-type: none"> 日ク協、日ラ協 全日本選手権大会 全日本学生選手権大会 アジア射撃選手権大会 等 日獵会 関東ブロック安全射撃大会、各種安全射撃大会 射撃教室、競技ルールの講習会、事故防止のための銃砲操作講習会の実施 月例会の実施による競技力向上等（月例会の実施例を提示） 身体障害者へのリハビリの見地から、ビームライフル競技を推奨 狩猟者の育成 フィールド射撃競技に対応した施設増設 	15	<ul style="list-style-type: none"> 射撃教室や各種射撃大会の開催 上級者には射撃競技で活躍ができるよう、日本ライフル射撃協会や日本クレ射撃協会への入会を促進 県ライフル射撃協会、県クレ射撃協会と協力し、県内、全国や国際規模の大会を誘致 地域の各学校に働き掛け、射撃指導員によるガイドツアーを開催し、希望者には無料ビームライフル体験射撃を実施 有害鳥獣駆除対策に資する射撃能力の向上のため、技能講習対策や初級・中級・上級別の射撃教室の定期的な実施や、県獵友会が行う技術育成フィールドクレ射撃大会を誘致 	